

埼玉県下 5 都市の都市基盤整備状況に関する住民意識調査

正会員 山田 高志*1
同 三浦 昌生*2
同 久保田 徹*3

都市基盤整備 市街化区域 アンケート調査

1. はじめに

埼玉県下の市町村では、本来、都市ガスや公共下水道などの都市基盤を整備した上で開発を進めていくべき市街化区域にあっても、整備が不十分なままに開発が行われている現状にあり、居住環境上の数多くの問題が生じていると考えられる。本研究では埼玉県下の 5 都市の住民を対象に、都市基盤整備状況に関するアンケート調査を実施し、今後の都市基盤整備のあり方について検討した。

2. 調査方法

既報¹⁾により大宮市、狭山市、越谷市、東松山市、羽生市の市街化区域における都市基盤整備状況が調査されている。本研究ではこの結果を基に、同 5 都市を対象とし、都市基盤整備状況ごとに標本抽出を行った。

アンケートでは、主に都市基盤の中から道路、ガス、下水に関して聞いており、それらの選択肢式質問の回答項目の多くは自由記入式質問によって構成した事前調査結果を基に検討した。また、アンケート票は郵便受けに直接投函し、郵送によって回収した。5 都市、計 2000 世帯に配布し、そのうちの 512 世帯から回答を得た(回収率 25.6%)。

3. 調査結果

(1) 道路に関する調査結果

道路に関する問題点を複数回答可として選択させたところ、「道幅が狭い」「歩道が整備されていない」を選択した回答者が 5 割を越えた。用途地域上の商業・住居系で比較すると、商業系では「大型車が通ると揺れが起こる」「道幅の割に交通量が多い」など交通に関する項目を選択する

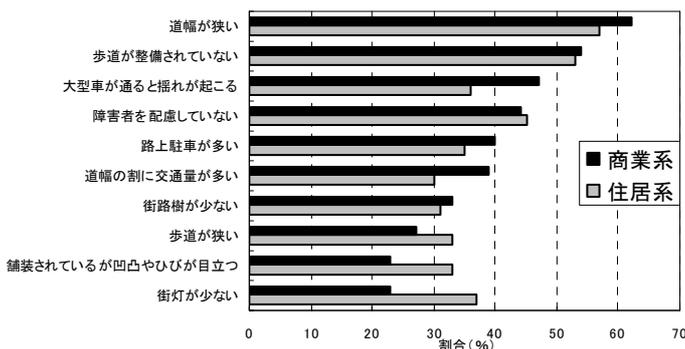


図 1 商業・住居系地域別での道路に関する問題点

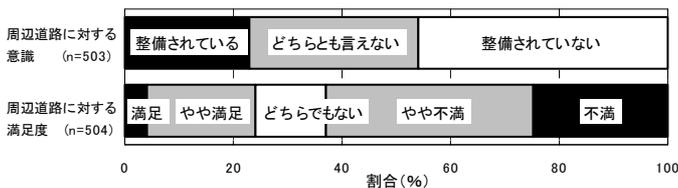


図 2 住まい周辺の道路に関する満足度

割合が高く、住居系では「街灯が少ない」「舗装されているが凹凸やひびが目立つ」など道路整備に関する項目を選択する割合が高かった(図 1)。

次に、住まい周辺の道路に関する満足度を図 2 に示す。「住まい周辺の道路は整備されていると思うか」について選択させたところ、「整備されていない: 47%」との回答が「整備されている: 23%」との回答の約 2 倍となった。また、周辺道路に対する満足度について聞いたところ「満足」「やや満足」が計 23%であったのに対し「不満」「やや不満」は計 64%と高く、多くの住民が道路の現状に不満を感じていることがわかった。

(2) ガスに関する調査結果

ガスに関して不満に思う項目を選択させた結果を都市ガス・プロパンガス利用者別に図 3 に示す。プロパンガス利用者は全体的に各項目の回答率が高く、特に「ほかのガス会社の料金と比べられない」「料金体系が不明瞭である」など利用料金に対する項目に関しては都市ガス利用者との割合の差が大きかった。都市ガス利用者がプロパンガス利用者の回答率を上回った項目は「ガス管を引く工事費が高すぎる」と「ガス管の老朽化が不安である」の 2 項目についてのみであった。

都市ガスを供給可能な地域であるにもかかわらずプロパンガスを利用している世帯は 54%であり、都市ガスを利用している世帯(46%)よりも多いことがわかった。しかし、今後利用していきたいガスについて聞くと都市ガスと答えた回答者は 80%、プロパンガスはわずか 5%であり、回答者の多くが都市ガスの利用を希望していた(図 4)。

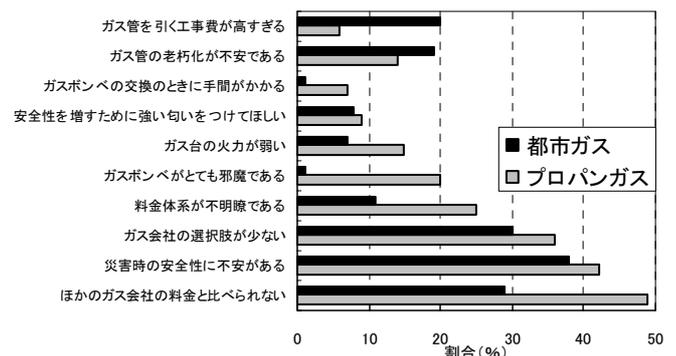


図 3 都市ガス・プロパンガス利用者別のガスに関して不満に思う項目

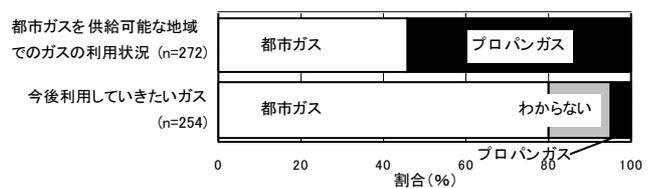


図 4 現在利用しているガスと今後利用していきたいガス

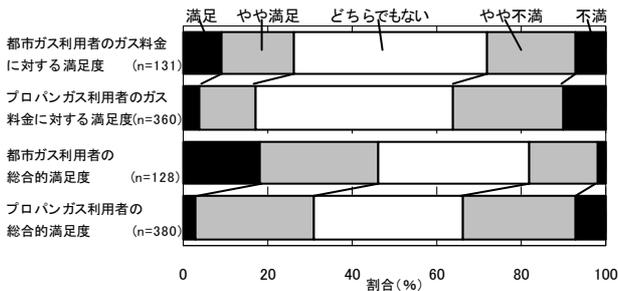


図5 都市ガス・プロパンガス利用者別のガスに関する満足度

また、都市ガス・プロパンガス利用者別にガス料金に対する満足度、総合的満足度を聞いたところ、都市ガス利用者の方がいずれの場合にも満足度が高かった(図5)。

(3) 下水に関する調査結果

下水に関して不満に思う項目を選択させた結果を公共下水道・浄化槽利用者別に図6に示す。浄化槽利用者よりも公共下水道利用者の回答率が高かった項目は「利用料金が高い」「公共下水道に接続する費用が高い」「料金体系に不満がある」の料金面に関する3項目のみで、その他の項目については浄化槽利用者の回答率が高く、すべて2倍以上の差があった。すなわち、浄化槽利用者は、水の増水・側溝の臭い・虫の発生・点検義務・維持管理など、料金面以

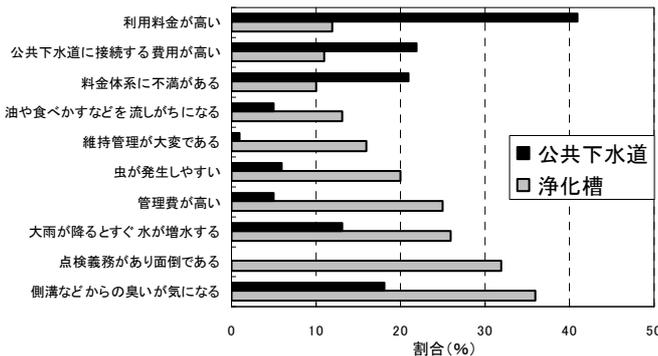


図6 公共下水道・浄化槽利用者別の下水に関して不満に思う項目

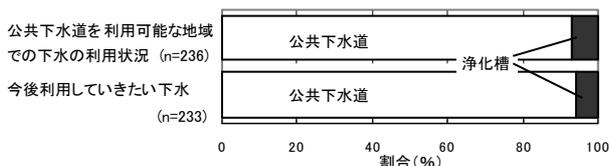


図7 現在利用している下水と今後利用していきたい下水

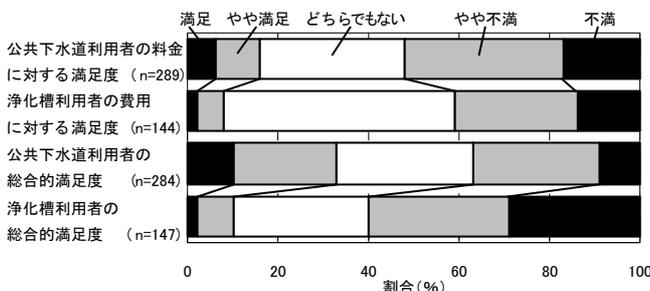


図8 公共下水道・浄化槽利用者別の下水に関する満足度

外の項目で公共下水道よりも不満が高いことがわかった。

公共下水道を利用可能な地域に住んでいるにもかかわらず浄化槽を利用している世帯は7%であり、ほとんどの世帯(93%)が公共下水道を利用していた。今後利用していきたい下水についても公共下水道が94%、浄化槽が6%となった(図7)。

また、公共下水道・浄化槽利用者別に料金・費用に対する満足度と総合的満足度を聞いたところ、料金・費用面に関しては公共下水道利用者の不満がやや高かったものの、総合的満足度では公共下水道利用者は浄化槽利用者の3倍以上が「満足」「やや満足」と答えており、また浄化槽利用者の60%は「不満」「やや不満」と答えた(図8)。

(4) 都市基盤整備状況別の満足度

住みやすさに関する総合的な満足度について質問した結果を既報¹⁾の結果により、都市ガス・公共下水道の両方が供給可能な地域、都市ガスのみ供給可能な地域、公共下水道のみ供給可能な地域、両方とも供給不可能な地域、の4地域別に集計した結果を図9に示す。

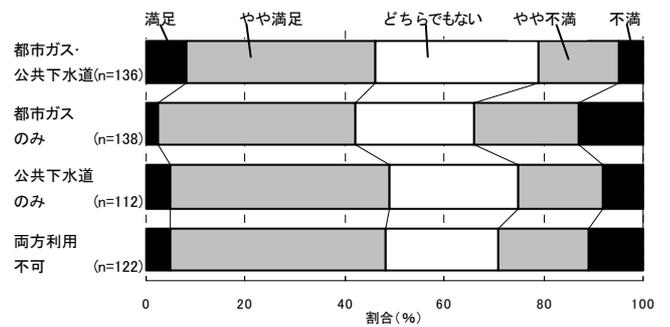


図9 都市基盤整備状況別の住みやすさに関する総合的満足度

当初、都市基盤整備状況別に満足度の差異が見られると予想したが、本調査ではそれらに差は見られなかった。なお「都市ガスのみ」と「公共下水道のみ」を比べると、公共下水道が未整備な地域の方が、都市ガスが未整備な地域よりも不満がやや高かった。

4. まとめ

特に道路整備に関しては多くの回答者が不満に思っているようである。ガス・下水に関しては、住民の満足度は整備状況によらないとの結果となった。一方、今後の利用に関しては、都市ガスは80%、公共下水道は90%以上が今後利用したいと回答していた。しかし、都市ガス供給地域にあっては、実際の都市ガス利用者は5割を下回っていた。このような整備されているが利用できないといった状況は、都市ガスのガス管工事費用の高さや手間が原因の一部と考えられるが、今後、更なる検討が必要である。

既報: 1) 中嶋正, 久保田徹, 三浦昌生, 八木佳紀: 埼玉県における都市基盤整備状況の実態調査に基づくスプロール住宅地の評価, 日本建築学会学術講演梗概集(東北)D1, pp.697~698, 2000.9

* 1 芝浦工業大学大学院修士課程
* 2 芝浦工業大学教授 工博
* 3 三浦研究室個人助手 博士(工学)

Graduate Student, Shibaura Institute of Technology
Prof., Shibaura Institute of Technology, Dr. Eng.
Research Assistant of Miura's Lab., Dr. Eng.